

<教科の教育目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
6月	食生活と自立 1.健康と食生活 ①食事について考える ②食生活のリズムと食事	2	・生活の中で食事が果たす役割を理解する。 ・食事を規則正しくとることの重要性を知る。	② ③	・生活の中で食事が果たす役割を理解している。 ・健康と栄養のバランスを考えた食事との関わりについて理解している。 ・健康と規則正しい食事の取り方との関わりについて理解している。	発言・授業態度 家庭科プリント
	③栄養素のはたらきと食品 ④中学生に必要な栄養 ⑤食事の計画	3	・食品に含まれる栄養素の特徴について理解する。 ・中学生に必要な栄養素の特徴について理解する。 ・中学生の1日に必要な食品を組み合わせて1日分の献立を立てる。	① ②③	・栄養素の種類とはたらきを理解している。食品を食品群に分類できる。 ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。 ・食品群別摂取量のめやすを利用して、1日分の献立の立て方について理解している。	発言・授業態度 家庭科プリント
7月	2.食品の選択と保存 ①食品が口に入るまで ②生鮮食品の選び方 ③いろいろな加工食品	3	・食品が口に入るまでの流れと購入のしかたを理解する。 ・生鮮食品の選び方を理解する。 ・食品加工の目的と食品保存の原理を理解する。	① ②③	・食品の輸入・安全の課題を教科書を参考に、体験・学習内容をふり返り、説明できる。 ・加工食品の種類や特徴、加工の目的や保存の原理を確認し、説明できる。	定期考査 発言・授業態度 家庭科プリント
	④加工食品の表示 ⑤加工食品の選び方	4	・加工食品の表示の意味を理解する。 ・加工食品の良否を見分け自分で選択できる。	① ② ③	・加工食品の表示の意味がわかる。食品添加物の表示と種類がわかる。 ・加工食品の表示を見てその食品の良否を見分け、自分で選択ができる。	発言・授業態度 家庭科プリント
8月 9月	⑥保存のしかたを考える ⑦食品の安全と情報 3.調理をしよう ①調理の計画	4	・食品にふさわしい保存のしかたとその理由を理解する。 ・情報を正確に読み取り、自分で判断できる。 ・調理の目的や調理の流れと手順を理解する。 ・調理実習に必要な調理器具の正しい扱い方を理解する。	① ② ③	・食品にふさわしい保存のしかたとその理由がわかる。 ・食品についての情報を正確に読み取り、自分で判断する大切さを理解している。 ・調理実習に関心を持ち、自分なりの目標を設定して取り組もうとしている。	発言・授業態度 家庭科プリント
10月	②調理の基本	4	・調理実習に必要な調理器具の正しい扱い方を理解する。	①②③	・調理実習に必要な計器や調理用具の正しい使い方を理解している。 ・安全や衛生に配慮した調理の工夫がわかる。	発言・授業態度 家庭科プリント
11月	③肉の調理 ④魚の調理 ⑤野菜の調理	4	・肉、魚、野菜の調理上の扱い方がわかり、調理する。	①②③	・肉の特徴と調理上の性質を理解し、肉をおいしく調理する実習計画を立てることができる。 ・魚の調理上の性質を知り、その性質を生かした調理ができる。 ・野菜の調理上の性質を知り、その性質を生かした調理ができる。	定期考査 発言・授業態度 家庭科プリント
12月	4.地域の食材と食文化 ①地域の食材と郷土料理 ②受け継がれる食文化 ③地域と世界へ目を向けて	4	・地域の食材と食文化を理解する。 ・日本の伝統食を知る。 ・環境と食生活を考える。	②③	・地域の食材を利用した郷土料理を理解している。 ・行事食や郷土料理について調べることができる。 ・多くの食品を海外からの輸入に頼り、日常の食生活をおくっていることに気づき、食料事情や環境などに配慮した食生活を考えることができる。	発言・授業態度 家庭科プリント
1月	身近な消費生活と環境 1.家庭生活と消費 ①生活に必要なものの流れ 2.商品の選択と購入 ①商品購入のプロセス	3	・生活に必要なものの流れについて考える。 ・必要なものと欲しいものとの違いと商品購入のプロセスを理解する。	①②③	・自分の家族の消費生活について関心を持ち、消費のあり方を改善しようとしている。 ・物質とサービスの提供先を理解し、ものの流れがわかる。	発言・授業態度 家庭科プリント
2月	②生活情報の活用 ③商品の価格 ④販売方法と支払い方法	2	・商品選択の情報を表示やマークが示してある内容がわかる。 ・価格の決め方がわかる。 ・商品の販売方法と支払い方法・契約の意味を理解する。	① ② ③	・表示やマークが商品の選択、購入に役立つことがわかる。 ・商品の価格の違いがあるのはなぜなのか、価格の決め方がわかる。 ・様々な販売方法や支払い方法の特徴を理解する。 ・契約の意味を理解する。	定期考査 発言・授業態度 家庭科プリント
3月	3.よりよい消費生活のために ①消費生活のトラブルを防ごう ②消費者の権利と責任 ③消費者を支えるしくみ	2	・消費生活のトラブルについて理解し、解決方法を 知る。 ・基本的な消費者の権利と責任について理解する。 ・消費者を支える機関や法律の必要性が理解できる。 ・社会や環境による影響について理解する。	① ② ③	・消費生活のトラブルについて理解し、トラブルの解決方法がわかる。 ・商品を購入することは選ぶ権利であるとともに責任も伴うことを理解できる。 ・問題解決のために消費生活センターやクーリングオフ制度があることを理解できる。 ・社会や環境による影響をSDGに関連して	発言・授業態度 家庭科プリント

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

家庭科（2学年）＜年間70時間＞

担当：森

＜教科の教育目標＞

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

＜評価の観点＞

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
6月	衣生活の自立 1.日常着の活用 ①衣服のはたらき	2	・衣服の社会生活上のはたらきを理解する。	①②③	・衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫することができる。	家庭科プリント 発言・授業態度
	②自分らしくコーディネート ③衣服の構成	5	・目的に合わせた衣服を自分らしくコーディネートできる。 ・洋服と和服の構成の違いを理解する。	①②③	・目的や個性を生かす着用を考え、デザイン画に記入している。 ・男性と女性の和服の着方のちがいや、和服と洋服の構成のちがいについてすすんで考え、発表している。 ・和服と洋服の構成のちがいや着方について理解している。	家庭科プリント 発言・授業態度
7月	④衣服の入手計画と選び方 2.日常着の手入れ ①衣服の汚れと手入れ	6	・衣服の正しい表示の見方や選択のしかたを理解する。 ・衣服の状態に合わせた適切な手入れができる。	①②③	・衣服の適切な選択について考え、工夫している。 ・既製服についての表示から情報を収集・整理しまとめることができる。 ・既製服の表示の意味と選び方を理解している。 ・衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解している。	定期考査 家庭科プリント 発言・授業態度
	②衣服の素材と手入れ ③衣服の洗濯 ④衣服の収納・保管	2	・衣服の素材に適した手入れを理解する。 ・素材に合った洗濯が工夫できる。 ・衣服を適切に収納・保管できるようにする。	①②③	・日常着の手入れに関心を持ち、洗濯の課題に取り組もうとしている。 ・衣服素材に適した手入れの必要性を理解している。 ・衣服を収納・保管する方法を工夫している。	家庭科プリント 発言・授業態度
8月 9月	⑤衣服の補修・補修方法の実習 3.布を用いた物の製作 ①制作の計画・手直し	2 2	・適した方法で衣服の補修を実習する。 ・製作に必要な材料、用具、目的に合った縫い方を知る。	①② ③	・日常着の補修に関心をもって観察している。 ・グループの話し合い活動に参加している。 ・補修の目的に適した方法で衣服を補修することができる。	家庭科プリント 発言・授業態度
10月	②製作 3.布を用いた物の製作	4	・自分や家族の生活が豊かになる物を考える。 ・ミシン縫いとミシン操作を確認する。 ・自分らしさを表現する工夫を考える。	①②③	・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分の生活に活かせるように工夫している。 ・ミシン操作や基礎的な裁縫技術を用いて、手際よく適切に作業することができる。	家庭科プリント 作品
11月	3.布を用いた物の製作	4	・能率よく目的に応じた縫い方で丁寧な制作をする。	①② ③	・製作に必要な材料や用具の選択ができる。 ・計画にそって作品をつくることができる。 ・布を用いた物の製作に関する知識を身につけている。	定期考査 家庭科プリント 作品
12月	住生活と自立 1.住まいのはたらき ①住まいの様々な役割 ②共に住まう	2	・家族、住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。 ・家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりを理解する。	①②③	・住まいのはたらきには、精神的なはたらきと機能的なはたらきがあることを知る。 ・住まいに必要な空間についての分類ができる。 ・家族が心地よく住むためには、どのような工夫をすればよいのかを考えることができる。	家庭科プリント 発言・授業態度
1月	2.健康で安全な住まい ①家族の健康と室内環境 ②家庭内の安全	3	・健康に配慮した住まい方を工夫する。 ・家庭の安全を考えた住まい方を工夫する。	②③	・室内の空気汚染の原因と空気調節の方法がわかる。 ・健康に配慮した住まい方について工夫することができる。 ・家庭内の事故の種類とその原因がわかる。 ・家族の安全を考えた住まい方を工夫できる。	家庭科プリント 発言・授業態度
2月	3.住まいと地域 ①災害への備え ②災害時の住まいと暮らし	2	・災害への備えの必要性を理解する。 ・安全で快適な住まい方を考える。	①②③	・自分の家に合った安全管理の工夫をあげることができる。 ・自分の家の場合の非常用持ち出し品や安全確保の方法をあげることができる。	定期考査 家庭科プリント 発言・授業態度
3月	③地域に配慮した住まい方 ④持続可能な住生活	3	・住まい方が地域に及ぼす影響を理解する。 ・住生活とSDGsの関連の深さを理解する。	①② ③	・地域とつながる視点から安全で快適な住まい方について意見をまとめることができる。 ・近隣や地域に配慮した住まい方についての工夫をあげることができる。 ・住生活とSDGsの関連を理解し、持続可能な住まい方の方法をあげることができる。	家庭科プリント 発言・授業態度

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

家庭科(3学年) <年間17.5時間>

担当:森

<教科の教育目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
6月	家族・家庭と子どもの成長 1.わたしの成長と家族 ①わたしの成長 ②わたしを支えてくれた家族や周囲の人々	1	・自分の成長を振り返ることができる。 ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて考える。	①②	・自分の成長の足跡を振り返ることができる。 ・自分の成長と家族や周囲の人々との関わり合いを理解する。	発言・授業態度 家庭科プリント
	製作 ①幼児の生活に役立つものを作ろう	1	・幼児の生活に役立つものを製作する。 ・絵本、おもちゃ、おやつなどレポートにまとめる。	①② ③	・幼児の生活に役立つものの材料を選び、幼児に配慮して作ることができる。	発言・授業態度 家庭科プリント 作品
7月	2.わたしたちと家族・家庭と地域 ①家庭のはたらき ②家庭生活を支える仕事	1	・家庭での活動を考え、家庭のはたらきを理解する。 ・家庭のはたらきと社会のつながりを理解する。	①② ③	・家庭のはたらきを支える条件について理解することができる。 ・家庭のはたらきと社会のつながりについて理解することができる。	定期考査 発言・授業態度 家庭科プリント
8月 9月	③わたしたちの家庭生活と地域 3.幼児の生活と遊び ①幼児期ってどんな時期	3	・家庭生活と地域との関わりについて理解する。 ・自分の成長をふり返り幼児期の特徴を理解する。	①② ③	・家庭生活と地域との関わりについて関心を持ち、地域の人々とのつながりの大切さに気づいている。 ・自分の幼児期の振り返りや幼児の観察を通して幼児に関心を持つことができる。	発言・授業態度 家庭科プリント
10月	②幼児の体の発達	2	・幼児の発達の特徴を知る。	①②	・発達には個人差や順序性があり、体と心はリンクして発達することがわかっている。	発言・授業態度 家庭科プリント
11月	③幼児の心の発達 ④子どもの成長と家族の役割	1	・幼児の心の発達の特徴を理解する。 ・幼児の生活の特徴を知り、家族の役割について理解する。	①② ③	・幼児の心の発達の特徴について理解し、幼児の心の発達は周囲の人々との関わりの中で育まれていくことが理解できる。 ・基本的、社会的な生活習慣のはたらきを理解し、幼児の発達を支える家族の役割を理解できる。	発言・授業態度 家庭科プリント
12月	⑤子どもの成長と地域 ⑥幼児の遊びと発達	2	・子どもの成長と地域とのかかわりについて理解する。 ・幼児の遊びの特徴と意義について理解する。	①② ③	・子どもの成長には地域が関わっていることを理解する。 ・幼児にとっての遊びの意味を理解できる。	発言・授業態度 家庭科プリント
1月	⑦幼児の遊びを支える	2	・幼児の遊び道具の役割や、遊びを支える環境について考える。	①② ③	・幼児の発達を支える遊び道具の役割や環境の重要性がわかる。	発言・授業態度 家庭科プリント
2月	5.これからのわたしと家族 ①中学生と家族との関わり	3	・家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をより良くする方法を考える。	①② ③	・家族との関わりに関心を持つことができ、家族関係を良くする方法を考えることができる。	発言・授業態度 家庭科プリント 定期考査
3月	②これからのわたしと家族との関係 ③持続可能な家庭生活	2	・これからの自分と家族の関わりや自分の生活に関心を持つ。 ・持続可能な家庭生活について考える。	①② ③	・自分と家族の関わりや自分の生活に関心を持つことができる。 ・家庭や保育などSDGsに関連してどんな取り組みができるか具体的に考えることができる。	発言・授業態度 家庭科プリント